



2008年3月期 決算説明会

2008年 5月 20日

住金物産株式会社

証券コード: 9938 (東証第一部・大証第一部)



目 次

1. 中期経営計画	-----	2
2. 連結損益計算書	-----	3
3. 連結財政状態	-----	4
4. 連結キャッシュフローの状況	-----	5
5. 来期の業績予想	-----	6
6. 配当とROE	-----	7
7. 連結セグメント情報	-----	8～15
・鋼 材		
・機械・建設・非鉄金属他		
国内拠点(鋼材、機械・建設・非鉄金属他)		
海外拠点(")		
・織 維 繊維関係 拠点		
・食 糧		
8. 環境ビジネス	-----	16

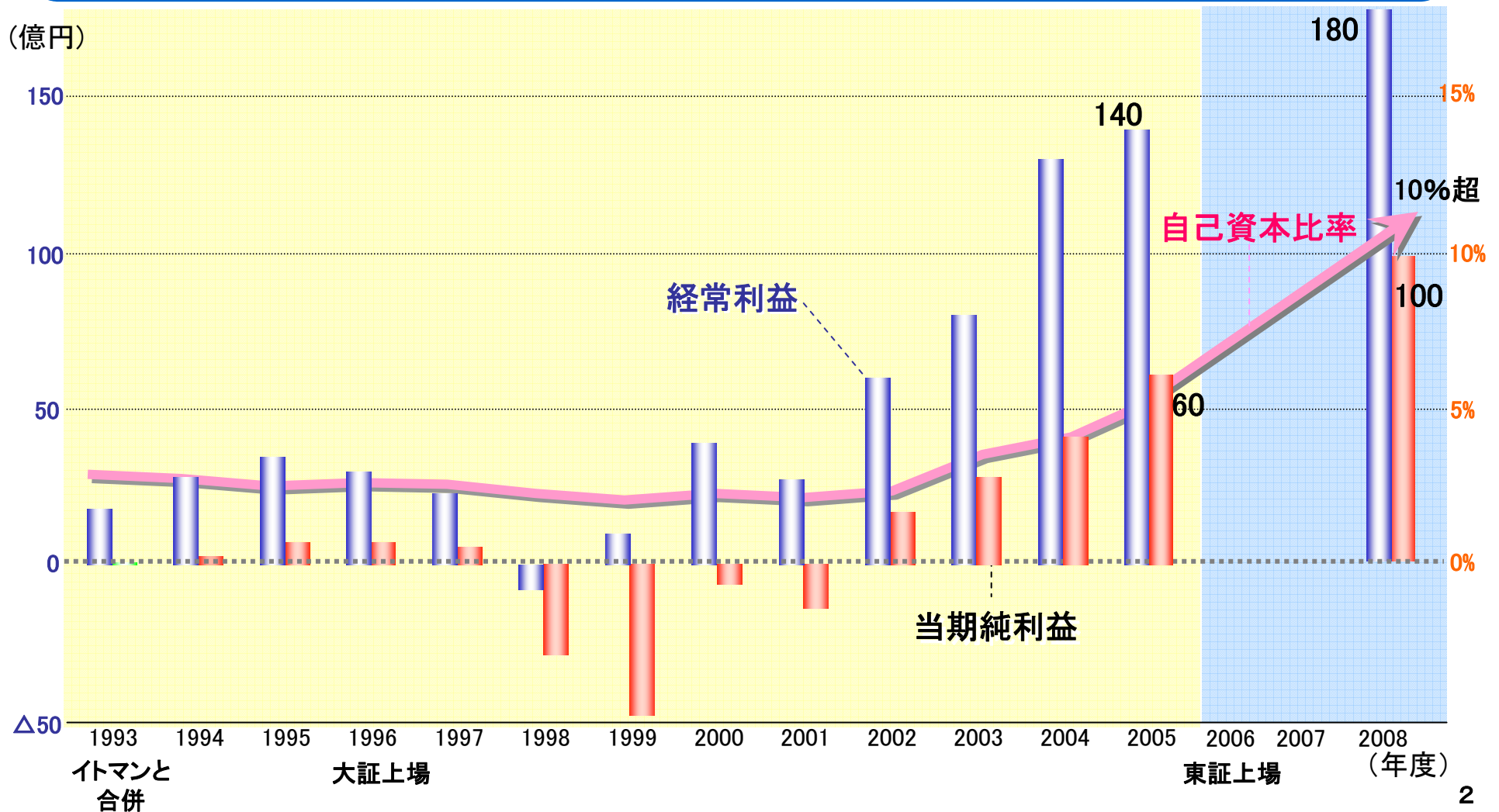
1. 中期経営計画

【企業理念】お客様と一緒に新しい価値を創造する。
 公正・安全を最優先し社会に貢献する。
 現場力・チーム力で夢に挑戦し実現する。

【連結対象企業数】 55社 (2008 / 3月末)

【06~08年度中期経営計画】

- ・顧客直結の「加工メーカー型機能」を国内外で拡充
- ・投資額 200億円 (過去3カ年の倍増)
- ・自己資本比率 10%超
- ・東証上場



2. 連結損益計算書

	08年3月期	07年3月期	増減	増減率	(億円)
売上高	13,149	11,776	1,373	11.7%	
売上総利益	723	695	28	4.1%	
販売管理費	496	495	1	0.3%	
営業利益率	1.7%	1.7%			
営業利益	227	199	27	13.7%	
営業外損益	△ 25	△ 20	△ 5		
経常利益率	1.5%	1.5%			
経常利益	201	179	21	12.0%	
特別損益	△ 4	1	△ 5		
当期純利益	109	94	14	15.5%	
1株当たり純利益	66.64円	64.06円	2.58円		

- ・増収増益（売上高、営業利益、経常利益、当期純利益は過去最高を更新。
特に、経常利益と当期純利益は共に6期連続過去最高を更新。）
- ・中期経営計画最終年度(09年3月期)の目標
営業利益210億円、経常利益180億円、当期純利益100億円を 1年前倒しで達成

注)「棚卸資産の評価に関する会計基準」の早期適用により、従来の方法に比べ売上総利益は14億円減少

3. 連結財政状態

(億円)

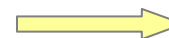
	08年3月末	07年3月末	増減額	増減率
流動資産	3,401	3,669	△ 267	△ 7.3%
有形・無形固定資産	283	274	8	3.2%
投資その他	335	335	△ 0	△ 0.0%
資産合計	4,020	4,279	△ 259	△ 6.1%
有利子負債	838	842	△ 4	△ 0.5%
その他負債	2,683	2,989	△ 305	△ 10.2%
負債合計	3,522	3,832	△ 309	△ 8.1%
株主資本	458	367	90	
評価・換算差額等	19	63	△ 44	
少数株主持分	20	15	4	
純資産合計	498	447	50	11.4%

自己資本比率	11.9%	10.1%	
1株当たり純資産	291.36円	262.97円	28.39円

4. 連結キャッシュフローの状況

(億円)

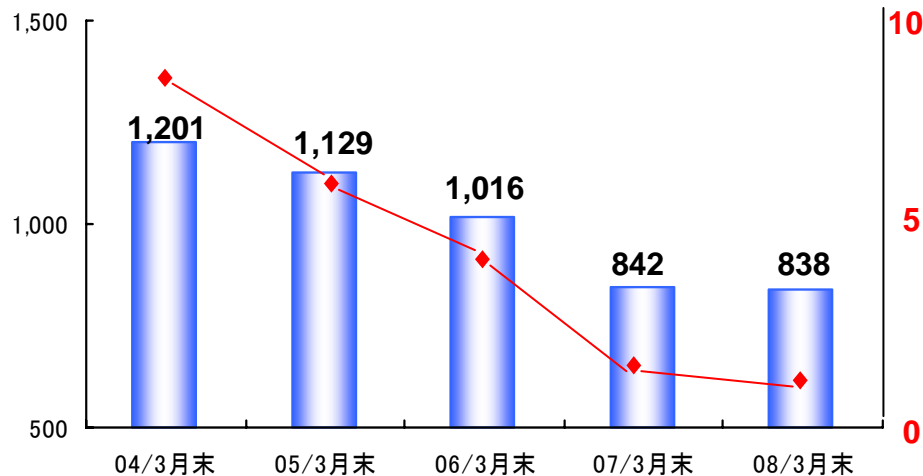
	2006年度	2007年度
営業活動によるCF	+ 69	+ 77
投資活動によるCF	+ 39	△ 97
フリーCF	+ 109	△ 20
財務活動によるCF	△115	△ 16
現金及び現金同等物の増減	△ 4	△ 37



投資CFの内訳		(億円)	
	2006年度	2007年度	
投資	60	110	
売却	99	13	
差し引き	+ 39	△97	

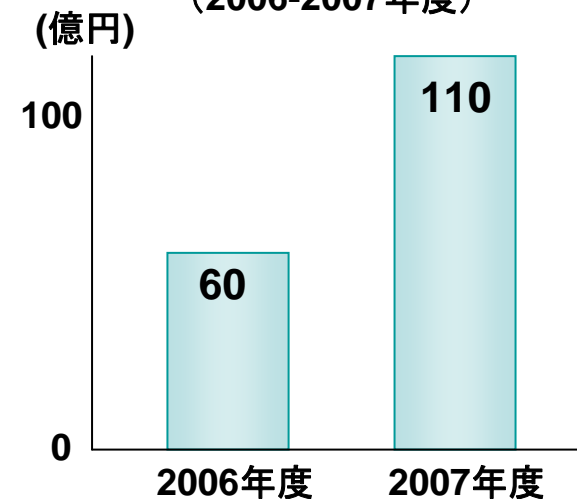
※2006年度、売却の内80億円は再編による中継基地の売却

(億円) 有利子負債残高とネットD/Eレシオ (倍)



ネットD/Eレシオ(倍) 8.6 6.0 3.6 1.7 1.6

投資実績 (2006-2007年度)



5. 来期の業績予想

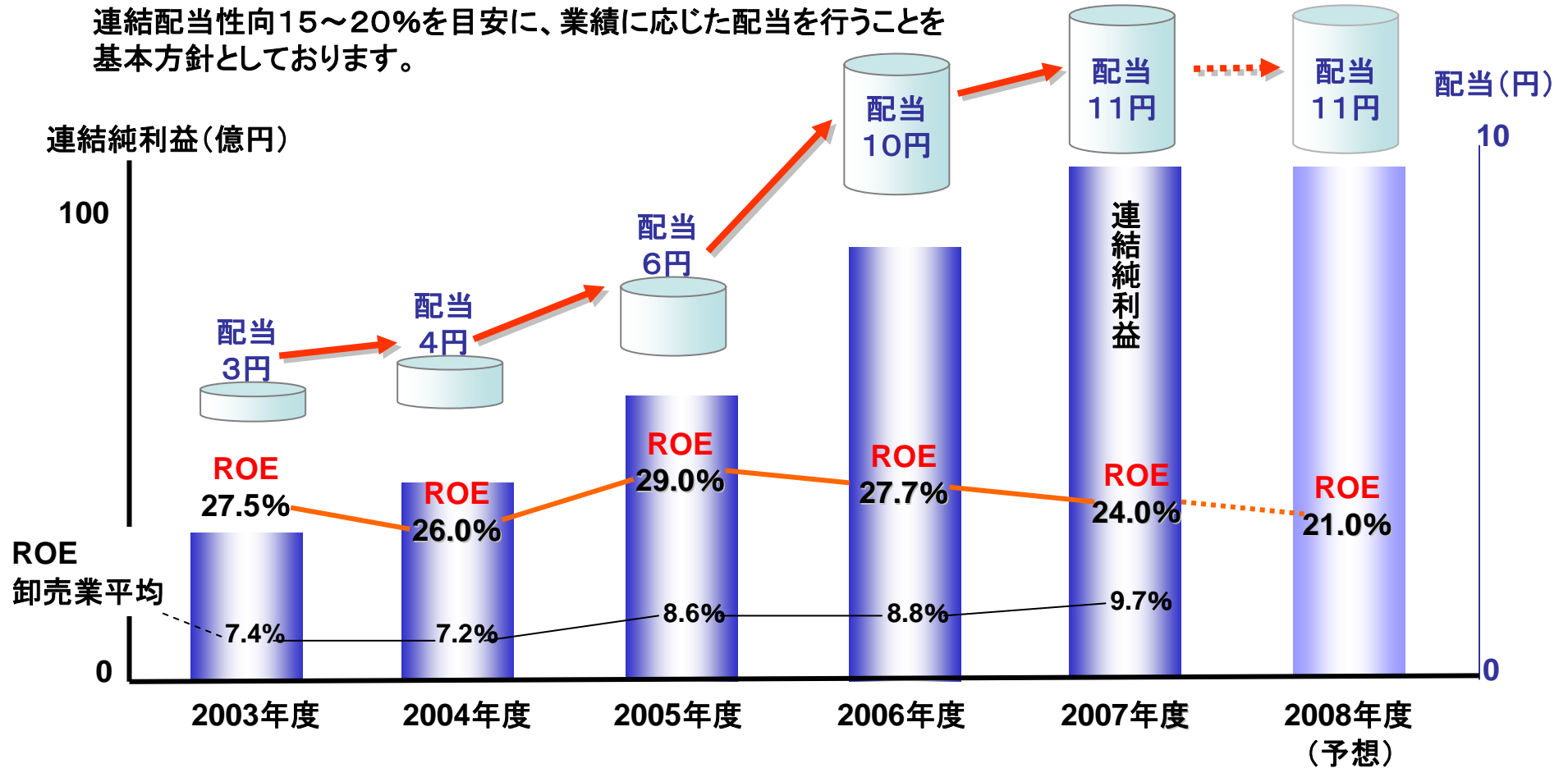
(億円)

	2008年度 (予想)	2007年度 (実績)	2008年度 中期経営計画
売上高	14,000	13,149	12,100
営業利益	230	227	210
営業利益率	1.6%	1.7%	1.7%
経常利益	202	201	180
当期純利益	110	109	100
総資産	4,200	4,020	4,000
自己資本	570	477	450
有利子負債	900	838	750
自己資本比率	13.6%	11.9%	10%超
NET DER	1.4倍	1.6倍	1.5倍程度
ROA	5.6%	5.5%	5%超

(ROA = 営業利益 ÷ 総資産)

6. 配当とROE

連結配当性向15~20%を目安に、業績に応じた配当を行うことを基本方針としております。



連結純利益 (億円)	26	38	60	94	109	110
自己資本 (億円)	127	166	250	431	477	570

7. 連結セグメント情報

営業利益の推移

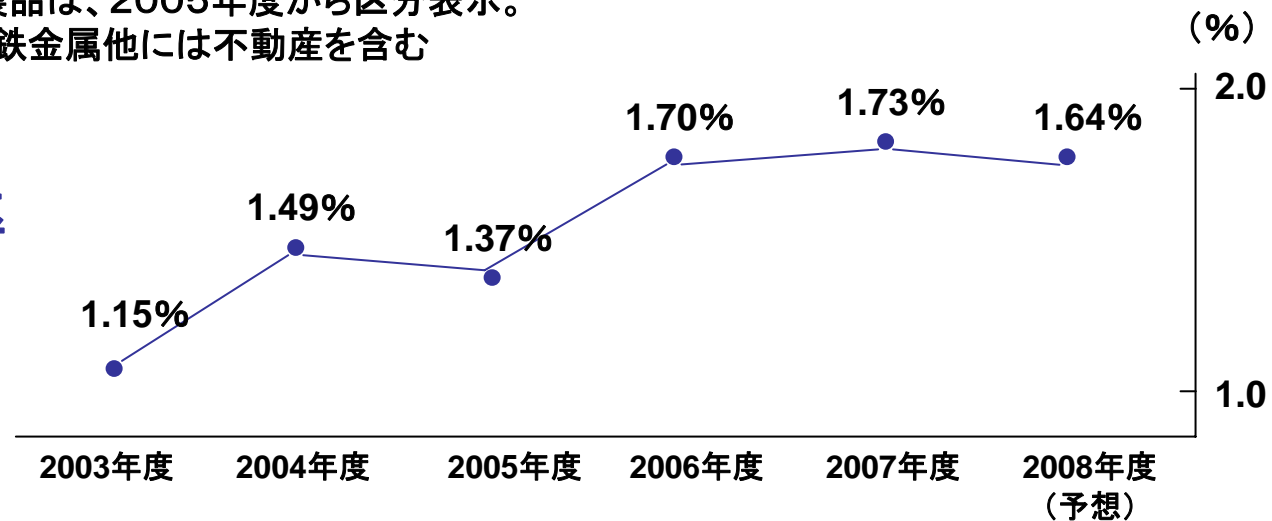
(億円)

	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度 (予想)	構成比 (予想)
鋼材	41	57	39	82	98	101	44%
繊維	46	55	44	49	52	53	23%
食糧	19	38	32	28	36	32	14%
鉄鋼原料・半製品	-	-	8	9	9	10	4%
機械・建設・非鉄金属他	△5	2	26	30	29	34	15%
合計	102	153	152	199	227	230	100%

※鉄鋼原料・半製品は、2005年度から区分表示。

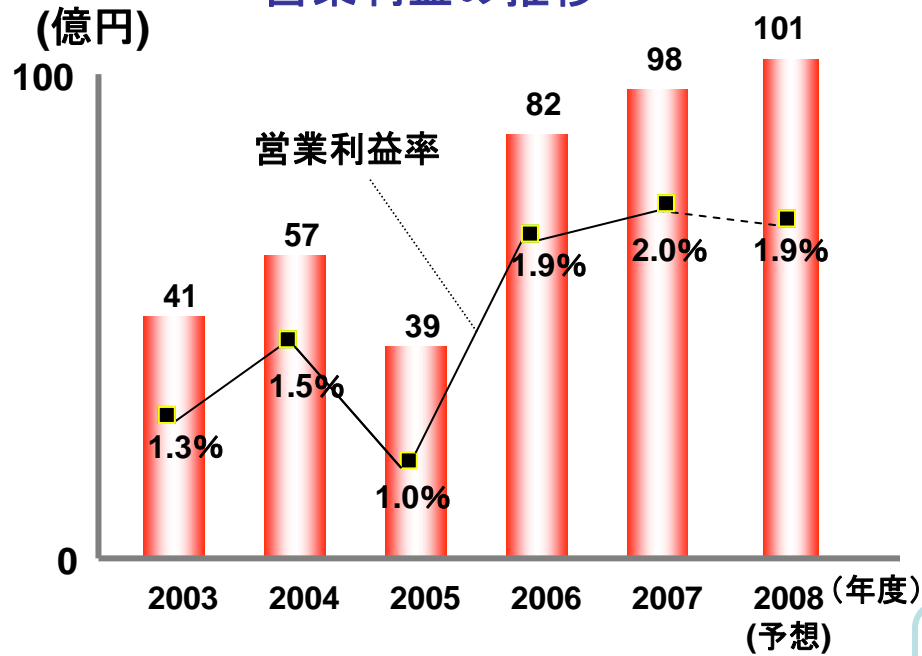
※機械・建設・非鉄金属他には不動産を含む

営業利益率 の推移



鋼材

営業利益の推移



売上高 (億円)	3,143	3,731	4,088	4,329	4,817	5,300
-------------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

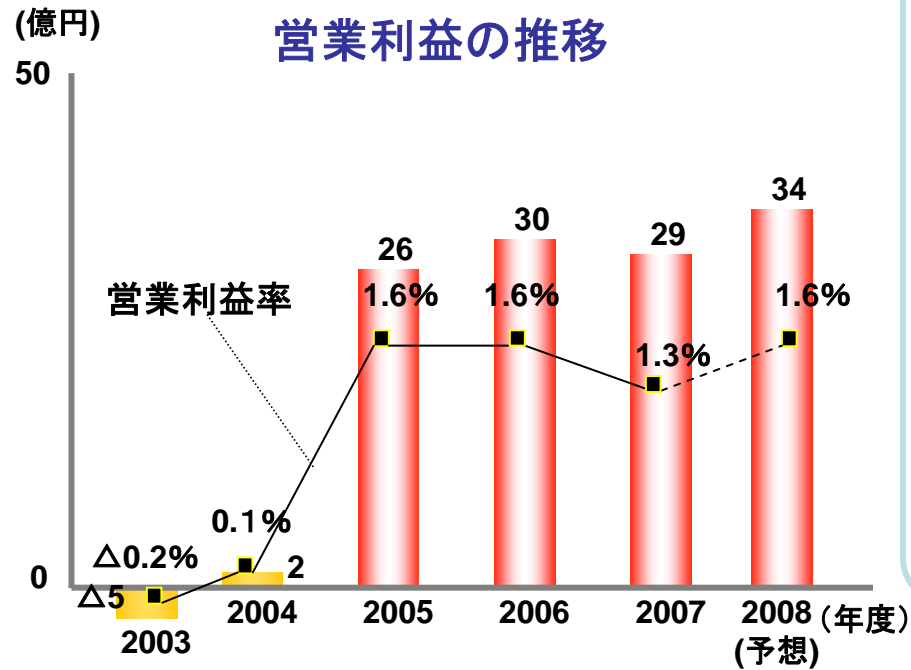
・2006年度 住金物産関東コイルセンター M&A
 エスエスシー北関東 出資
 三栄鋼板 M&A
 岡山原田鋼管 M&A
 住金物産特殊鋼 M&A
 上海藝友(中国) 設備増強
 東莞住金物産(中国) 設備増強

・2007年度 住金物産コイルセンター 設備増強
 住金物産コイルセンタータイランド
 工場増築
 イズミ鋼板工業 設備増強
 ケンタッキースチールセンター(アメリカ)
 テネシーへ進出

・2008年度 海外コイルセンターの設備をさらに拡充
 ケンタッキースチールセンター(アメリカ)
 住金物産コイルセンタータイランド
 天津華住(中国)

鋼材値上げと数量確保

機械・建設・非鉄金属他



売上高 (億円)	2,785	3,557	1,718	1,871	2,255	2,100
----------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

- ・2006年度 Kitagawa-Northtech
北川鉄工所との連携強化
- ・2007年度 住金システム建築 設立
米国住金物産 カリフォルニア支店
航空機用特殊合金販売事業 M&A
- アルミの加工機能拡充
中国 上海藝友
東莞住金物産
- 住金物産マテックス
液晶ガラス分断機の需要拡大

- ・2008年度 製品値上げ
タイ、アメリカの事業拡大
システム建築の事業拡大

国内拠点(鋼材、機械・建設・非鉄金属他)

システム建築



標準化し、工期短縮、
低価格、高品質を実現

鋼材
機械・建設・非鉄金属他

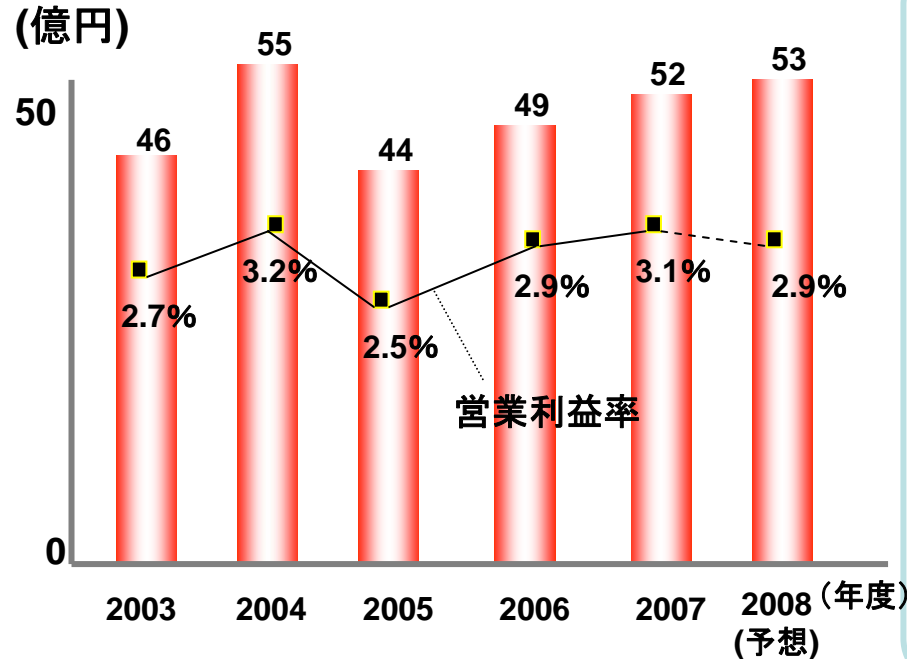
● 当社国内営業拠点
(東京、大阪、名古屋、
札幌、仙台、青森、秋田、
鹿嶋、水戸、新潟、富山、
静岡、広島、岡山、小野田、
高松、松山、福岡、鹿児島、
沖縄 計 20拠点)

海外拠点(鋼材、機械・建設・非鉄金属他)



織 維

営業利益の推移



売上高 (億円)	2003	2004	2005	2006	2007	2008
	1,710	1,712	1,764	1,730	1,726	1,830

【繊維・商品売上高構成比】 (2007年度実績)

繊維製品	94 %
生地	4 %
糸・原料	2 %

OEM機能の強化

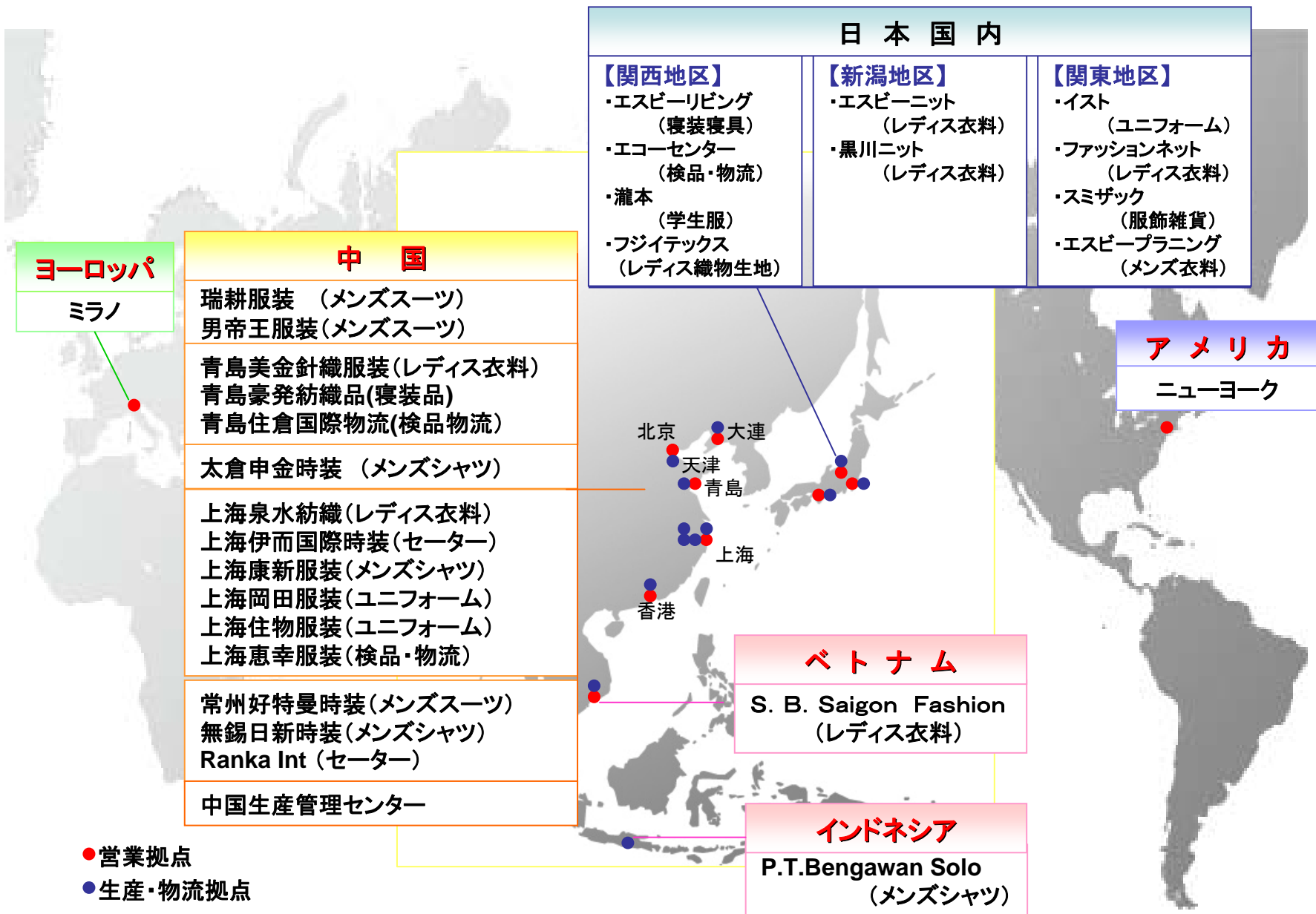
- ・中国コーストライン(上海、天津、青島、香港)、物流検品機能の強化
- ・中国生産管理センターによる、生産管理の徹底とコストダウン
- ・中国プラスワン(ベトナム・インドネシア)
- ・国内生産拠点の見直し、エスビーニット設立(新潟)
黒川ニット M&A(新潟)
フジテックス M&A(大阪)
- ・ファッション雑貨ビジネスへの進出(スミザック設立)

OEM=Original Equipment Manufacturing
相手先ブランドによる生産

・OEM機能のさらなる強化

- ・ニット縫製工場(北京依達制衣)への出資
ユニフォーム生産 ミャンマーへ本格進出
- ・メディア・コマース部の新設
テレビ、インターネット通販など新販路での取り組みを本格化
- ・海外市場の開拓

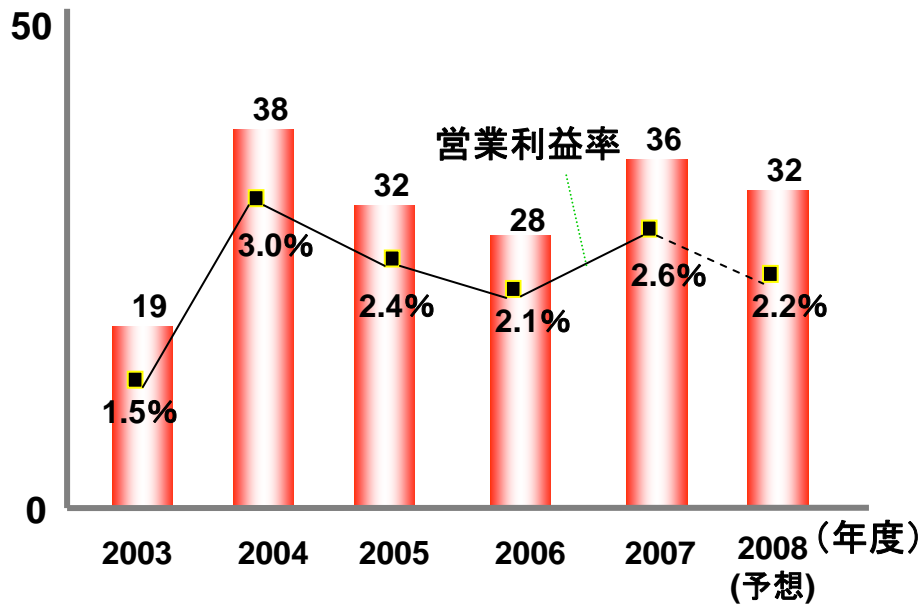
繊維関係 拠点



食糧

(億円)

営業利益の推移



売上高 (億円)	2003	2004	2005	2006	2007	2008
売上高 (億円)	1,288	1,296	1,346	1,339	1,423	1,470

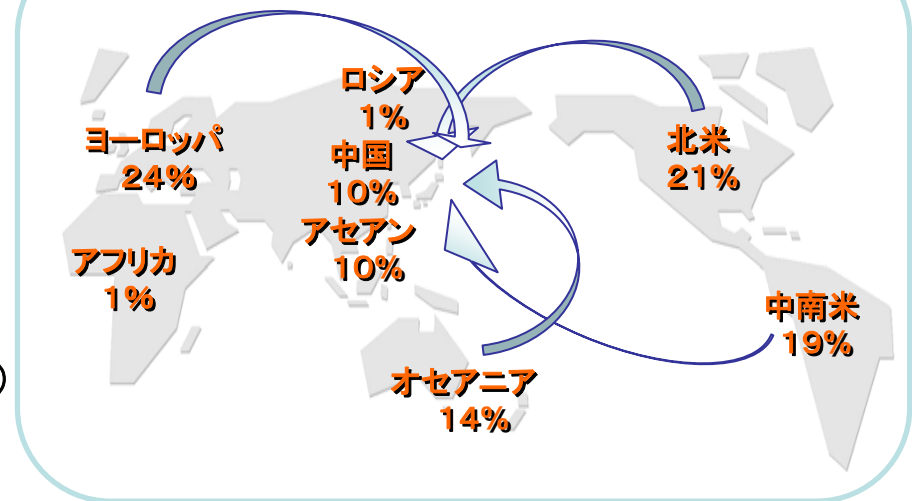
【食糧・商品売上高構成比】(2007年度実績)

食肉	66%
加工品	16%
農水産	9%
つぼ八	9%

安心・安全な商品提供を最優先

【食糧カンパニーの海外調達状況】

(%:2007年度地域別輸入比率)



食糧関係 グループ会社

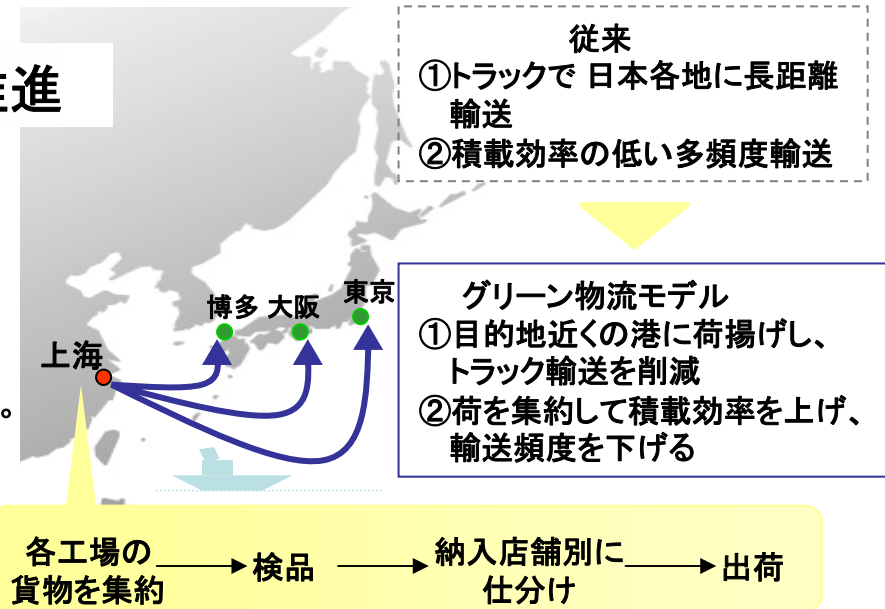
居酒屋 つぼ八 全国 423店舗 (2008/3月現在)

日協食品 (食肉・加工品の小口販売)

8. 環境ビジネス

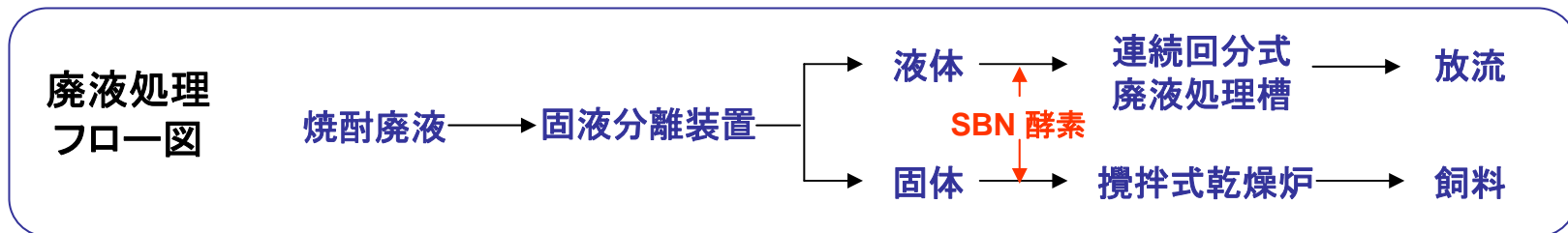
1) 繊維・環境物流(グリーン物流)を推進

二酸化炭素排出量削減と物流コスト削減を同時に実現するべく、アパレル企業や物流事業者との連携を進めています。
中国各地で生産した繊維製品を、上海等中国コースラインの物流拠点4カ所に集約し検品をおこなった後、納入先の店舗ごとに仕分けし発送することで、検品作業の中国移管を実現するとともに、船便の積載効率を向上させます。さらに、店舗に一番近い港に陸揚げすることで、国内のトラックによる長距離輸送を削減いたします。
(繊維グリーン物流は、2006年度の経済産業省グリーン物流パートナーシップ会議のモデル事業に選ばれました。)



2) 焼酎廃液処理システムを開発

(株)美創技研と共同で「焼酎廃液処理システム」を開発しました。
専用の酵素(SBN 酵素)の働きにより自然の力を高めることで、驚異的な浄水効果が得られ「めだかが棲める水」を実現。消臭効果も高く、環境に極めてやさしい廃液処理システムです。
浄化水は河川への直接放流も可能です。併せて、固形分は酵素の働きにより65℃程度の低温で乾燥処理されるため、ビタミンなどを壊すことなく、良質の飼料として再生します。
本システム事業化のため、SBN酵素の販売、処理プラントの施工・メンテナンス等を行う、住金物産グリーンチーム(株)を、2007年10月に設立しました。



※本資料に記載されている業績見通しおよび将来に関する予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる場合があることをご承知おき願います。

本資料およびIRに関するお問い合わせ先

総務・広報部 広報・環境管理課

TEL: 03-5412-5003

FAX: 03-5412-5102